

令和6年度 10月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長 足立 祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



富士の実り

園長 足立 祐子

「とうきょうすくわくプログラム」

長かった夏が終わり、ようやく朝夕の風が涼しくなってきました。いよいよ秋の到来です。富士幼稚園では、東京都の「とうきょうすくわくプログラム」を活用し、『実りを見つめるプロジェクト』を行っています。この「とうきょうすくわくプログラム」は園での主体的・協同的な探究活動を通じ、子どもの豊かな育ちをサポートするための事業です。今年度は、台東区の姉妹都市の宮城県大崎市から、稲の苗を送っていただき、バケツ稲の栽培に挑戦しました。50を超えるバケツに実がなり、オンラインでこの後の管理や収穫について、大崎市の方にご指導いただきました。お米を狙う動物たちとの戦いを経て、いよいよ収穫の日を迎えました。毎日その様子を見ながら発見したことや、感じたことがたくさんあったことでしょう。米不足の今年は、ひと粒のお米に対する「こころもち」も違ってくると思います。

その他に、富士幼稚園では、夏野菜の栽培や収穫などを、各学級やお家の方と実施してきました。限られた自然環境の中でも、自分で関心を持ち、水をあげて世話をしてきた植物は、格別に大切な存在です。最初は、「みんながするから、水をあげる」「先生があげましようというから、水をあげる」という姿もありましたが、「今日は暑いから、のどが乾いていたでしょう！」「昨日より、背が高くなった！」「花が咲いたね、良かった！」と、だんだん心が寄せられていきました。そこで収穫したものは、スーパーで売っているものとは違う「特別な野菜」でした。自分たちで育てた野菜はほんの数種類でしたが、ひとつの経験は、必ず次の興味・関心につながります。植物を育てるという活動を媒介に、心が大きく育つことを実感しています。今年も園庭のぶどうがたくさん実り、自分たちで食べたり、小学校や警察署など普段お世話になっているところにお届けしたりしました。植物の実りは、心の実りにつながりますね。

いよいよ運動会

10月19日には、幼稚園の運動会が開催されます。行事は、保護者の皆様にとっては、お子さんの成長を実感したり、幼稚園での生活や友達との関わりの姿を垣間見たりできる、楽しい機会であると思います。そして園児にとっては、一人一人の力や、友達関係、そして学級としてのつながりなどを充実させる、大きなステップとなっています。幼児の時期は、様々な運動機能が育つ時期と言われていますが、それは、ひとつの動きを取り上げて繰り返し訓練することばかりで育つわけではありません。本来は、子供たちがとことん本気で遊ぶ中で育っていくものだと思います。幼稚園では、出来るだけのびのびと体を動かせる環境を作りつつ、どの子も喜んで体を動かして遊べるように工夫をしていきます。運動会はその良いきっかけになります。「体を思いきり動かす」とことと共に、「友達と相談する」「自信をもつ」「友達を認める、応援する」「満足感をもつ」などという大きな実りにも期待しています。